

北風と太陽

香芝市立香芝北中学校通信

NO.42 2025.2.13 文責 上谷基博

「校長先生、何で『北風と太陽』って名前なんですか？」

2月もそろそろ半ばですね。だいぶ日が長くなり、来週からは最終下校時刻も17:45になります。

先日、最終下校の時、校門に立っていると、2年生の生徒から学校通信のタイトルが『北風と太陽』である理由を質問されました。そう言えば現在在校しているみなさんには説明してませんでしたね。申し訳ありません！

と言うことで遅ればせながら説明します。
2021年4月16日発行の通信に以下のような説明を記載しています。



『北風と太陽』が教えてくれること

学校だよりを出すにあたって、タイトルをどうしようか考えました。『北』というワードは入れよう！これは当初から決めていました。実はこの日通勤の車中で久保田利伸さんの『北風と太陽』という曲を聴きました。昔から馴染みの曲ですが、タイトルの意味は知りませんでした。調べてみるとイソップ童話のひとつでした。詳しい内容は書きませんが、この童話から2つの教訓が学べるようです。

教訓1:「着実な方法を選択した方が成果が生まれやすい。」

教訓2:「その場に応じて柔軟な対応をする必要がある。」

なかなか良いじゃないですか。生きていく上でどちらもとても大切なことです。ということでこの通信のタイトルを『北風と太陽』にしました。

ここ1週間を振り返ってみます。

＜給食試食会 2月4日(火)＞

11月に続き2回目を開催しました。日頃みなさんが食べている給食を保護者の方にも味わっていただく機会です。参加された保護者の感想の一部を紹介させていただきます。

- ・汁物は野菜やお肉の味がしっかり出ていたので、味が薄いとは全く感じませんでした。
- ・白ご飯のおいしさにビックリしました。
- ・栄養バランスがとても良く、味付けも本当に美味しかったですし、毎日給食を作って下さる方々に感謝しかありません。ありがとうございます。



予測困難な時代をたくましく生き抜き、よりよい社会の創り手となる生徒の育成



- ・メインの量が男子だと少し物足りないのではないかと思います。
- ・中学校のは美味しくないと思い込んでましたがご飯もお汁も温かく美味しかったです。
- ・改めて食育の大切さを学びました。生徒や先生方が頑張ってくれている残食率の少なさをこれからも引き続いてお願いします。

＜コミュニティ協議会 2月4日(火)＞

本校教育を全面的に支えて下さっているコミュニティ協議会。今年度の総括を行ってくださいました。いつも言っていますが、本気の大人の集まりである協議会。

生徒・教職員が少しでも快適に学校生活・教育活動を行えるようにいろんなサポートをこれからもお願いいたします。

＜新入生体験入学 2月7日(金)＞



およそ2ヶ月後に入学してくる旭ヶ丘小学校と志都美小学校の6年生のみなさんが本校にやってきました。まず上谷のあいさつなのですが、ここ数年は無茶ぶりをするようにしています。それぞれの小学校の人に自分の小学校の自慢をしないさいと。誰がやるかも含めて、事前に打ち合わせなしのガチンコ勝負。両校とも「やります！」と手を挙げた人がおり、一生懸命役目をつとめてくれました。中学校生活について2人の先生からお話も良い姿勢で聴けていたと思います。校舎案内&授業見学の後はいよいよ部活動体験。

6年生もですが、実はみなさんの方も張り切ってくれてました。1年生にとっては後輩となる子たちです。また、まだ決めていない人たちは後者内外の部活動を生徒会役員みんなの案内で見学して回りました。

